

○ハンブ注射用 [注]

- 【重要度】 【一般製剤名】カルペリチド（遺伝子組換え） carperitide (genetical recombination) 【分類】心不全治療薬 [rh-ANP]
- 【単位】○1000 μ g/V
- 【常用量】0.1 μ g/kg/min で開始 [最大0.2 μ g/kg/min]
- 【用法】注射用水 5mL で溶解し、生食または 5%ブドウ糖液で希釈して持続点滴 [直接生食で溶解すると塩析が起こる]
- 【透析患者への投与方法】尿量がない場合には十分な効果が期待できない (5)
- 【保存期 CKD 患者への投与方法】血漿濃度が 2 倍に上昇するので 50%を目安に減量し、反応性をみながら慎重投与 (5)
- 【特徴】 α 型ヒト ANP 製剤で、血管拡張作用と利尿作用によって前負荷及び後負荷を軽減して急性心不全時の血行動態及び臨床症状を改善する。
- 【主な副作用・毒性】血圧低下、徐脈、血清電解質異常、不整脈、肝障害、血小板減少、ほてり、悪心・嘔吐、めまい、過敏症など
- 【安全性に関する情報】末梢同一ラインから 72hr を超えて投与すると血管障害の発現リスクが上昇 (遠山泰崇, 他: 医療薬学 45: 222-227, 2019)
- 【F】
- 【tmax】
- 【代謝】腎臓、肝臓で代謝されると推測 (1)
- 【排泄】尿中に未変化体は排泄されない (1) 【CL】 $111 \pm 55.2 \text{ mL/min/kg}$ (1)
- 【t1/2】定常状態に 10~20 分で到達 (1) α 相 2~4min, β 相 10~30min (1)
- 【蛋白結合率】10% [ラット] (1)
- 【Vd】 $1367 \pm 834 \text{ mL/kg}$ (1)
- 【MW】3,080.44
- 【透析性】資料なし (1) 透析性はあると思われる (1)
- 【OW 係数】資料なし (1)
- 【相互作用】利尿剤: 利尿作用の増強 (1) PDE-5 阻害剤: 血圧低下 (1)
- 【備考】アミノ酸輸液との配合不可 (1)
- 【更新日】20201223

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。